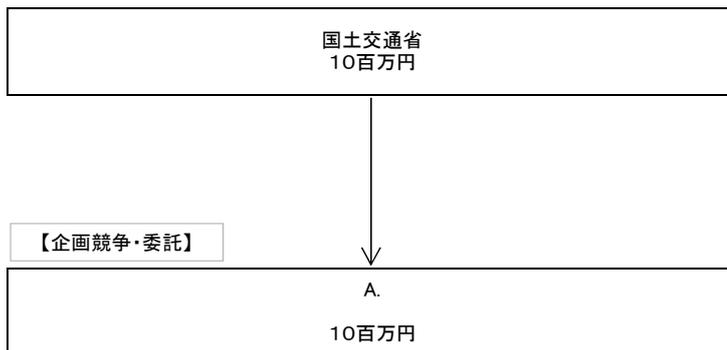


平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	建設リサイクル推進等のための適切な施工管理の確保		担当部局庁	土地・建設産業局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H26/27		担当課室	建設業課		課長 青木由行		
会計区分	一般会計		政策・施策名	9 市場環境の整備、産業の生産性向上、消費者利益の保護 32 建設市場の整備を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	建設業法二十六条 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律七条、九条		関係する計画、通知等	建設リサイクル推進計画2008				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	木造住宅、マンションや商業ビル等の建築物が更新時期を迎え解体工事の増加が見込まれる中、解体工事における民間発注者の保護、解体工事現場での公衆災害防止や廃棄物の適正処理、建設リサイクルの推進等を図ることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	建築物等の解体工事は市街地等で施工されることも多く、有害物質の飛散防止など関係法令を遵守した周辺環境に配慮した施工が求められている。また、建設リサイクル推進や適正な廃棄物処理に資するよう現場における建設資材等の分別解体、有害物質の除去・現場保管など解体工事中の適切な施工が求められている。これらの現場における適切な施工を図るには、現場に配置される技術者の高い施工管理能力を確保することが重要であり、解体工事に係る技術者に必要な技術、知識を整理し、技術者要件等の検討を行うものである。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算					10	
		繰越し等						
		計					10	
	執行額							
	執行率 (%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果目標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (27年度)
	建設廃棄物の再資源化率			%	-	-	集計中	94
				%	-	-	集計中	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	収集・分析する技術、知識の体系数			件	-	-	-	-
					(-)	(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	- (円/)		算出根拠	-				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	-	0.3					
	職員旅費	-	0.1					
	委員等旅費	-	0.3					
	調査費	-	9					
	計	-	10					

事業所管部局による点検															
		項目	評価	評価に関する説明											
国費 投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	木造住宅、マンションや商業ビル等の建築物が更新時期を迎え解体工事の増加が見込まれる中、解体工事における民間発注者の保護、解体工事現場での公衆災害防止や廃棄物の適正処理、建設リサイクル推進等の必要から、解体工事現場に配置される技術者の高い施工管理能力を確保するものであり、公益性、優先度はともに高い。 また、法令に基づいて工事現場に配置が義務付けられる技術者要件等の検討のための調査であり、公的な視点から国自ら実施すべきである。											
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○												
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○												
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-												
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-												
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-												
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-												
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-												
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-												
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-												
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-												
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-												
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業番号</th> <th>類似事業名</th> <th>所管府省・部局名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			事業番号	類似事業名	所管府省・部局名	-	-	-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名												
	-	-	-												
点検 結果	木造住宅、マンションや商業ビル等の建築物が更新時期を迎え解体工事の増加が見込まれる中、解体工事における民間発注者の保護、解体工事現場での公衆災害防止や廃棄物の適正処理、建設リサイクル推進等の必要から、解体工事現場に配置される技術者の高い施工管理能力を確保するものであり、公益性、優先度はともに高い。														
外部有識者の所見															
-															
行政事業レビュー推進チームの所見															
-	建設現場でのリサイクル推進、解体工事に伴う公衆災害防止のために重要な施策であり、効果的な施策として効率的に執行できるよう努めるべき。														
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況															
-	-														
備考															
-															
関連する過去のレビューシートの事業番号															
平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-	-									

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
a					
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					